

防蟲科學

第五號

財團法人防蟲科學研究所

京都帝國大學內

昭和十六年十二月

既刊號主要目次

創刊號

發刊の辭	松井元興
羊毛の新防蝕劑に就て	武居三吉
毛織物の害蟲に就て	多田保治

第二號

羊毛皮革の害蟲防除法	春川忠吉
「コイガ」の生治史に就て	山田保治
「ヒメマルカツラブシムシ」に関する文獻	山田保治
羊毛防蝕に関する諸問題「抄譯」	宮島式郎

第三號

「ヒメカツラブシムシ」に就きて	山田保治
「ロテノン」を主成分とせる一防蝕劑の効果	高山武三
羊毛害蟲之蝕害と溫度との關係(第一報)	山田保治
「ヒメマルカツラブシムシ」成蟲の集來する花に就きて	山田保治

第四號

表本用「クロス」の防蝕防鼠加工	武山居三吉
「クロス」の害蟲「ナミゴキブリ」に就きて	山田保治
生絲の蟲害防除に関する試験	櫻井秀雄
「イガ」に就きて	山田保治
羊毛害蟲の蝕害と溫度との關係(第二報)	山田保治
同 (第三報)	山田保治
「ヒメマルカツラブシムシ」の攝氏12度定溫飼育に於ける産卵と孵化	山田保治
「フランスギク」花に集來する「ヒメマルカツラブシムシ」成蟲の數と其れが捕殺に関する考察	山谷田保久治代

防蟲科學

第 五 號

財團法人防蟲科學研究所

京 都 帝 國 大 學 內

昭 和 十 六 年 十 二 月

目 次

論 說

貯藏米の害蟲と其防除 (一般的考察)

京都帝國大學教授・農學博士 春 川 忠 吉…… 1

米穀の蟲害防除に關する研究 (第一報)

京都帝國大學教授 農學博士 武 居 三 吉 …… 9
京都帝國大學化學研究所研究員 宮 島 式 郎

毛織物の害蟲「シモフリマルカツラブシムシ」に就きて

京都帝國大學農學部昆蟲學研究室 山 田 保 治……16

毛織物主要害蟲の蝕害と汚れと關係 (第一報) 同 山 田 保 治……27

羊毛害蟲の蝕害と溫度との關係 (第四報) 同 山 田 保 治……33

「フランスギク」花に集來する「ヒメマルカツラブシムシ」成蟲と

その捕殺の效果に關する考察 (第二報) 同 山 田 保 治 ……37
同 谷 口 久 代

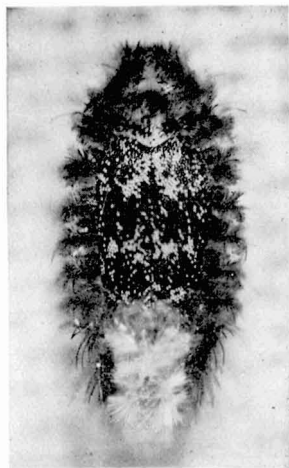
抄 譯

昆蟲の繁殖阻害因子としての粉末 (Stanley E. Flanders氏原著)

若 岡 潔……46

編 輯 後 記

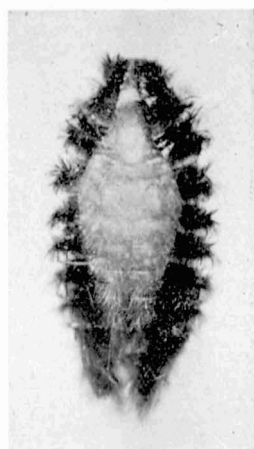
財團法人防蟲科學研究所總則及役員



8



1



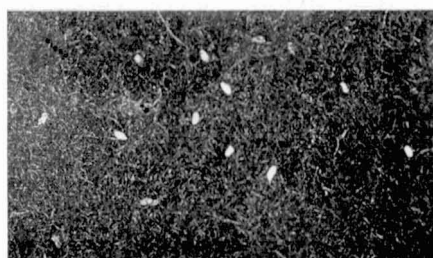
7



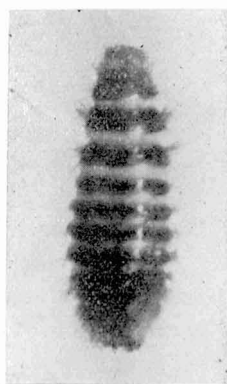
3



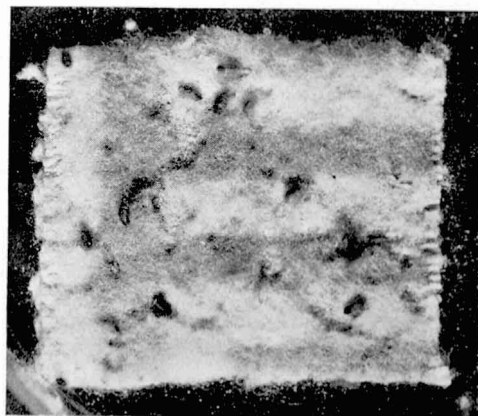
4



2



5



6

編 輯 後 記

食糧問題のやかましい折柄、穀象の駆除に、珪藻土を用ひての、武居、宮島兩氏の研究報告第一報を登載し得たことは喜びに堪へない。貯米害蟲の筆頭は穀象である、此重要な害蟲の駆除として、従來行なはれて來た方法は、二硫化炭素と「クロールピクリン」を用ひての毒瓦斯燻蒸で、何づれも大量貯藏の倉庫に害蟲が発生した時に行なはれる方法である。効果は顯著であるが、一般家庭での實行はむづかしい。又、余は今年4月下旬から7月下旬迄の3ヶ月間、藁灰を用ひて穀象駆除の小實驗を試みたが、此成績も極めて良結果を得た。珪藻土、藁灰、相方共に、倉庫に限らず、僅かな米の場合でも、簡単に施行出来るのであるが、既に、穀象が米に産卵した後のものでは其効果は薄いやうに思はれるから、まだまだ研究を重さねる必要がある。

大部分を外國からの輸入に仰いで居た羊毛を加害する最も大きな役割は害蟲が務める。此被害を如何にして軽減せしむるかは、吾々に課せられた問題であるが、之等の研究資料を集めるのには仲々骨が折れる。此時に當つて、岐阜縣多治見高等實淺女學校教諭澤田幸子氏から多くの貴重な資料を惠與せられ、又、福岡縣柳河高等女學校教諭田中カズエ氏からも、度々有益な參考資料を送つて頂いた。兩氏の御好意に對し厚く感謝の意を表する。

1匹の蟲が食べた蟲穴は小さいが、小は積つて大をなす、今夏試みた穀象駆除實驗の際、玄米5合の中へ穀象の雄雌5組放飼して置いて、藁灰を混入したものとの比較對照をして見た。處が、藁灰を混入しない5合の玄米の中で、5組の雄雌を放飼して3ヶ月後に、其中の成蟲だけを數へて見たら、1482匹と云ふ驚くべき數に繁殖して居た、此一例を見ても蟲の繁殖力の旺盛さがわかれると共に、小さな蟲と雖も被害が大となることを注意しなければならぬ。

配給制度になつて物の有難さがわかり、純毛が手に入らなくなつて、小さな害蟲にも注意するやうになつた。若しも吾々が此時局に際會しなかつたら、眞の物の有難さを之程までに感じなくて終つたかも知れぬ。其所に感謝の念が沸いて來る。

肥料として重用せられて居る藁灰が、穀象防除に役立つことがわかつた。僅かの米なら火鉢の灰で事は足りる、一本の稻藁、一握りの灰と雖も、粗末には出來ない、と共に、どのやうな小さな害蟲でも、注意を拂つて、資源の確保に勤めなければならぬ、斯うした吾々の仕事が、防蟲報國の一端ともならば望外の幸ひである。(山田保治記)

財團法人防蟲科學研究所總則及役員

(昭和十二年二月十九日設立認可)

總 則

- 第一條 本法人ハ財團法人防蟲科學研究所ト稱ス。
- 第二條 本法人ハ防蟲科學ニ關スル研究ヲ獎勵シ其發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス。
- 第三條 本法人ハ前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ。
- 一 防蟲科學ニ關スル研究者若ハ團體ニ對シ研究資金ノ交付。
 - 二 防蟲科學ニ關スル研究及調査。
 - 三 其ノ他第二條ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業。
- 第四條 本法人ハ事務所ヲ京都市左京區吉田町京都帝國大學内ニ置ク。

役 員

理事長	京都帝國大學總長	文學博士	羽 田 亨
理事	京都帝國大學教授 化學研究所長	工學博士	喜 多 源 逸
理事	京都帝國大學教授	農學博士	春 川 忠 吉
理事	京都帝國大學教授	農學博士	武 居 三 吉
理事	株式會社小林政治商店	社長	小 林 政 治
理事	衆 議 院 議 員		中 山 福 藏
監事	京都帝國大學書記官		鐘ヶ江富次
監事	日本防蟲藥株式會社社員		片 畑 敬 三
主事	京都帝國大學會計課長		福 原 發 人

昭和十六年十二月廿五日印刷

昭和十六年十二月三十一日發行

Ⓔ 定價 金 五 拾 錢

編 輯 兼
發 行 者

山 田 保 治
京都市左京區北白川道分
京都帝國大學農學部

印 刷 者

須 磨 勘 兵 衛
京都市下京區北小路新町西入

印 刷 所

内外出版印刷株式會社
京都市下京區西洞院七條南入

發 行 所

財團法人防蟲科學研究所

京都市左京區吉田町
京都帝國大學内

賣 捌 所

丸善株式會社京都支店

京都市河原町通四條上ル
〔本店〕東京・〔支店〕大阪・名古屋・福岡・仙臺

